

西ア選抜チームが来県

地元チームと親善試合

硬式野球

西アフリカ選抜の野球チーム12人が27日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパークで田辺・西牟婁を中心とした硬式野球愛好者らでつくる「和歌山ファイティングバースゼロ」と親善試合をした。

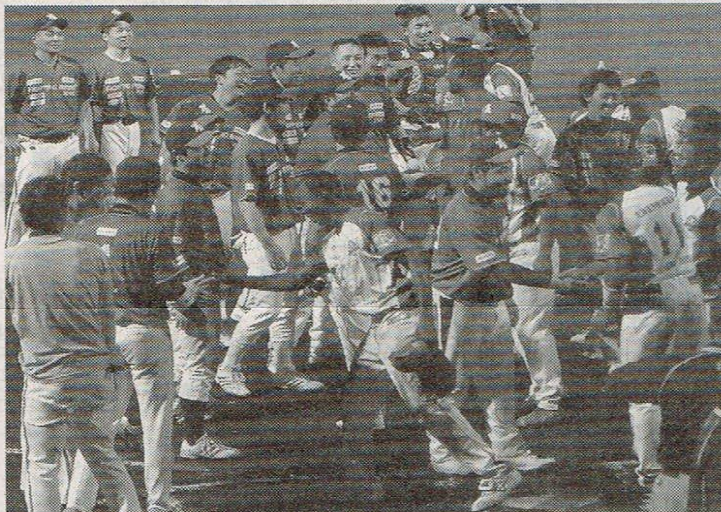
西アフリカ選抜チームは野球を通じて青少年の育成を目的に西アフリカ7カ国から選抜、結成された。紀南のトレーニング施設が充実していることなどから和歌山県を訪れ、地域との交流を楽しんでいる。

試合は1回から乱打戦となり、時間切れで4回8-8の引き分けとなった。

試合後、西アフリカ選抜チームのアカファンド・アミール選手(18)は「日本の野球が好きで、みんな日本でプロ野球選手になることを目指して頑張っている。相手は投手の球が速く、いいチームだった。7回くらいまでやって勝ちたかった」、和歌山ファイティングバースゼロの山本宗一郎主将(29)は「楽しかった。アフリカの選手は身体能力が高く、足が速かった」と話した。

西アフリカ選抜チームは、29日午前11時から独立リーグの兵庫ブルーサンターズ育成軍と、30日午前11時から兵庫

ブルーサンターズOB軍と、31日午前10時半からプロ野球のOBチームと、いずれも上富田スポーツセンター野球場で交流戦をする予定。入場料



試合後、握手を交わす西アフリカ選抜チームと和歌山ファイティングバースゼロ(27日、田辺市上の山1丁目で)

千円(18才以下は無料)。問い合わせは和歌山ファイティングバース理事の高下沢さん(090・89999・414)へ。